

# NYA 会報

スローガン 心意気

Nagasaki Young Generation Association

2002

2

発行 ▶ (社)長崎青年協会 / 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル 3階

TEL.095-821-1625 FAX.095-823-7375

会長 野島徹也 編集 ▶ 広報委員会 委員長 井手清治

## 2月号のテーマ「新」

### 会長挨拶

会長 野島徹也



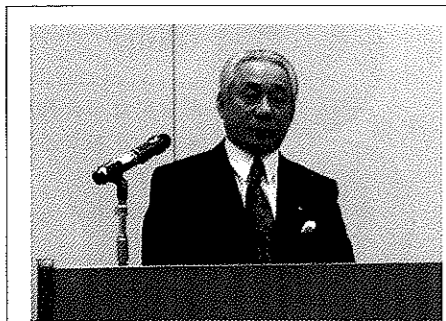
皆さん今日は。暦の上では立春を迎えこの日を境に徐々に暖かくなるとの事ですが、まだまだ寒い日は続きます。インフルエンザ大流行の兆しもありますので、体調管理を怠らずに日々お過ごしください。青年協会におきましても次年度田川清浩会長の下、着々と春の始動の準備がなされている事でしょう。

さて今年度のスローガン「心意気」は皆さんに伝わったでしょうか？ こんな厳しい時代だからこそ、気持ちでの繋がりを大切にしたいと思っています。「俺がやらなきゃ誰がやる！ あいつがやらなきゃ俺がやる！」と言う姿を期待していましたが、いかがだったでしょうか？ 私は喜ばしい事に随所に感じられたと思っています。

皆さんはどう感じられた事でしょうか？ 人の為？会の為？と言いながらも、どんな事に対しても頑張れば巡り巡って自分にいい報いがあり、後に必ず自分の為になるのですから。最後になりますが、早いもので今年度も残すところ2ヶ月となりました。残る事業も「心意気」を持って会員一丸となり達成したいと思っていますので皆さんご協力お願いいたします。

## ◀ 1月例会 ▶

平成14年 1月21日(月) / 長崎ブリックホール



### 講師プロフィール

氏名 浅田 五郎 氏  
 生年月日 1937年 9月12日生  
 学歴 1959年 日本大学法学部卒  
 現在 長崎県議会議員(6期)  
 長崎県・市ハンド  
 ボール協会会長  
 (財)長崎県体育協会理事

新年を迎えてからの本年初の例会は憲章唱和から開催され、会長挨拶、講師講演へと続いた。今回は講師として青年協会OBでもいらっしゃる長崎県議会議員の浅田五郎OBをお招きし、「2002年これからの長崎」という演題で講演をしていただいた。

長崎県の場合、県民所得が全国平均よりも低く、又、長崎市においては人口が例年減り続け、特に若者が少なく活力を失いつつある事、そしてそれに伴う周辺市町村合併の問題、交通機関や病院の企業運営と公共運営の経営状態の違いについて語られ、公共運営会社への税金投入等の問題や、民営化について述べられた。又、近年長崎への観光客が減少する中で、青年協会が開催している「おくんち広場」等の経済波及を大きくさせるのに助成できるような事業をもっと検討し、長崎の発展に貢献すべきであり、「もっとこうしたら良いのでは？」等の積極的意見陳情・請願を地政にも行い、ローカルさを活かした長崎でしか出来ないような事も検討すべきではないかという事だった。確かに事業ばかりが長崎の貢献につながると思えず、又、内外部ともに実働事業が多い青年協会に対して盲所を突くかのような的確な意見であったと感じた。最後に住み良い長崎を作りたい事、国家とは領土と国民があって成り立つ事、又、観光をより充実させるため問題提起してほしい事を述べて、今回の講演を終了した。

浅田OBの青年協会会員(いや、日本中の青年に対してではなかろうか?)への訴えかけるような講演に対し、数名からの質疑があり、浅田OBはそれについても聡明な応答をしていただいた。都合上、質疑応答の時間は限られたが、皆、今回の講演で多く



講演中の浅田OB



質疑応答にも熱が入る...



片江君によるカンパイ

の意見を持っただろうし、長崎の将来について真剣に考えさせられる講演であったと感じた。

浅田OB、ためになるお話、誠に有り難うございました！今後、機会があれば、又、お話をお聞かせ下さい。

講演の後は役員報告、委員会報告、同好会報告へと続き、1月生まれ誕生者祝い、新年初の「青年協会の歌」を歌い、1月度例会は終了した。尚、今月の例会出席者は30名であった。

二次懇親会は21名の参加により「割烹とし」で行なわれた。片江君の乾杯の音頭により始まったこの宴は新年会のごとき賑わいの中にも、次年度に向けた展望が大いに語られていた様である。寒い冬空の下、二次懇親会の熱は次年度に続く協会活動に継続されていくだろうと感じた。



1月生まれの皆さん



お子様誕生の堀田君

## 『新人研修』開催迫る！

日時 / 3月10日(日) 10:30~ 場所 / 市民の森 内容 / ハタ作り体験・ハタ揚げ体験

研修開発委員会の指導の下、新人リーダー橋田徳之君、副リーダー三谷勝大君を中心に、池田秀樹君、堀田健二君、浅野光弘君、中尾裕一君、前田勲君の今年度新入会員7名により11月から準備を始め、研修開催に向け、新人各々が出来ることを行ない、いよいよ開催日を待つばかりとなりました。

研修では『長崎の文化の次世代継承と家族交流』をテーマに掲げ、多くの会員並びにご家族の方に参加していただきたいと思っています。

当日はハタ作りの講師の方もお招きしてご指導していただきますので、たくさん出来上がった立派な『ハタ』が市民の森の空に揚がり、グラウンドを駆け回る親子の姿が数多く見られることを期待します。お昼には温かい『ほうとう』が用意されますので、心も体も温まる時間をぜひ過ごしていただきたいと思っています。会員の皆様のご参加をお願いいたします。



「どうしようか……。」



「こうしようか……。」



リーダー 橋田徳之君より

今回新事業を実行する事となり、研修開発委員会の各位殿はじめ、青年協会会員全体のご支援をいただきまして、現在試行錯誤しながら取り組んでおりますが、私の気構えが足りないのか各位殿にはご迷惑をおかけしている状況で自分の不甲斐なさを深く反省する所でもあります。

しかしながら「迷うよりもまず行動！」失敗を恐れずに経験できることを喜びとし、活動を通して真の協会員となるべく懸命に取り組んでいきますので、皆様のご支援をお願いいたします。



副リーダー 三谷勝大君より

まだまだ未熟な私たちですが、今回の新事業では企画には自信があります。今年の新人は一味違うというところを見て頂きたいので、ぜひ当日ご参加下さい。今後ともよろしくお願い致します。

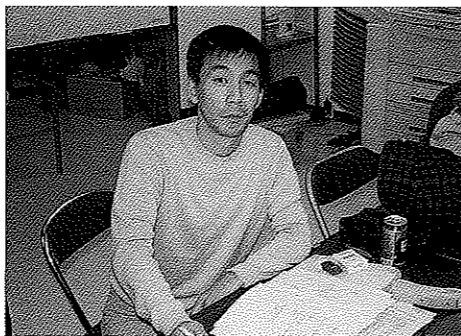
# 委員会訪問記

## 21世紀ビジョン推進室の巻 =「(社)長崎青年協会のこれからを考える全体会議」を控えて=



21世紀ビジョン推進室理事： 田川清浩君

基本的活動方針： 新世紀を迎えこれからの青年協会活動を推進していくために、会員全員であらゆる面において検討を重ね、より良い方向性を見出すことを目的とする。



企画思案中の田川理事

—この一年間の活動をお聞かせ下さい。

各委員会を訪問し、「青年協会」に対する考え、想い、意見をお聞きしました。様々な、かつ、貴重な意見を頂き、この紙面上でお礼を述べさせていただきます。有り難うございました。

しかしながら、時間的制約や、出席人数が少ない委員会もあり、全員の意見を聞けなかったことは残念に思います。いまさらながら、もっと積極的に委員会訪問を行ない、お話を聞けば良かったと、反省しております。

—2月例会の中で行なわれる「全体会議」の目的をお聞かせ下さい。

「青年協会」は会員一人々々の会費は勿論の事ですが、皆さんの活動によって支えられております。そのためにも会員の皆さんのそれぞれの考えや意見を「全体会議」の場を出し合い、「青年協会」が今後進むべき良い方向を見いだすことを目的としています。

—「全体会議」への呼びかけをどうぞ。

会員の皆さんの「青年協会」に対する考えや意見は個々においては様々でしたが、私はそれらはどれも熱く、いずれも間違いではないと思いました。そのような考えや意見をみんなで討論する機会はありませんので、「全体会議」の場において話し合い、「青年協会」が将来進むべき良い方向を見いだしましょう。

そのためにも会員にとっては大切な会議となりますので、お忙しい中とは存じますが、出席のほどをよろしく願いいたします。

田川理事は今期、「委員会訪問・意見交換」を繰り返し行ない、直接、会員のナマの声を聞いてきました。青年協会在籍年数も一番長く、又、次年度には会長就任を控え、協会に対しては人一倍熱い思いを抱いています。

「全体会議」の成功のために、皆さんの御協力をお願い致します。

## 協会員の「結婚シーズン」と「お子様誕生シーズン」に関する統計

「祝！ご結婚！」のコーナーはお休みです。そこで、新婚の記事や新生児誕生の記事を広報誌に載せる度に、「青年協会内では一年に何人結婚しているのかな？子供は何人生まれているのだろうか？シーズンはあるのかな？」と疑問が湧きましたので、調べてみました。(当時の現役会員のみです。又、上半期は4月～9月、下半期は10月～翌年3月です。)

過去5年間(平成13年度は平成14年1月末迄)の統計ではありますが、その内、平成9年度より平成12年度迄の4年間では、一年間に結婚した会員は平均2.0人、一年間にお子様誕生の会員は平均7.8人という結果が出ています。しかし、平成13年度(平成14年1月末迄)に関しては、一年間に結婚した会員はその前の4年間の平均と同じく2人でしたが、これに対し一年間のお子様誕生は約半分の4人でした。最近よく耳にする「少子化」問題が、青年協会にも表れてきているようです？

	一年間に結婚した会員数(人)			一年間にお子様誕生の会員数(人)		
	上半期	下半期	合計	上半期	下半期	合計
平成9年度	1	0	1	5	5	10
平成10年度	2	0	2	3	5	8
平成11年度	1	1	2	2	2	4
平成12年度	2	1	3	2	7	9
4年間の合計	6	2	8	12	19	31
4年間の平均	1.5	0.5	2.0	3.0	4.8	7.8
平成13年度	2	0	2	1	3	4
5年間の合計	8	2	10	13	22	35
5年間の平均	1.6	0.4	2.0	2.6	4.4	7.0

次に「上半期」と「下半期」に分けてみてみますと、「一年間に結婚した会員数」は「上半期」に集中し、「一年間にお子様誕生の会員数」は「下半期」に集中しています。つまり、青年協会では「結婚シーズン」＝「上半期」、「お子様誕生シーズン」＝「下半期」と言えると思います。(上半期に結婚した会員が同年度の下半期にお子様誕生という意味ではありません。)

ちなみに青年協会入会后、この5年間に「結婚」し、「お子様誕生」の現役会員は3人(仁藤君、野口君、小川君)しかいないのですが、全員「上半期結婚」、「下半期お子様誕生」となっています。

## 我ら！青年兄弟 昭和55年3月海星高校卒業三兄弟の巻

(来月、青年協会を新たに旅立つ3人です。入会順に長男、次男、三男、となっています。)

Q1 高校時代の面白い話があればお聞かせ下さい。

次男へ：高校時代は野球人生だった。五島弁が判からなかった。海星寮を飛び出し、瓊浦寮にいたのは謎である。  
三男へ：私とは違う道を歩んでいた。

Q2 青年協会での印象は？

次男へ：先輩方への自分の売り込みは抜群！後輩達への指導も人一倍!!  
三男へ：料理が得意で、「おくんち広場」のプロジェクトは抜群!

Q3 兄弟と、青年協会での思い出は？

次男は仲間との調和、大切さを知る人間！三男とは地域事業委員会で協力し、汗を流した。二人とも良い仲間だ。

長男 原喜一郎

次男 地島 秀

三男 野島 徹也

長男へ：パーマヘアーで休み時間はロックンロールの練習。学校に何しに来ていたの？  
三男へ：あんなにスマートだったのに…。

長男へ：協会活動で活躍し、感心した。相変わらずHOTにしてくれる。  
三男へ：かなり『おなか』が大きくなって…。

ルノワールで夜明けまで飲み、語り合った事。二人とも本当に協力してくれる仲間です。

長男へ：今と同様、なぜか目につく存在でした。  
次男へ：違う部活のためか、面識がありません。

長男へ：「いっちゃんかわらん！」(良くも悪くも…)  
長男、次男へ：二人の頑張り、活躍はうらやましくもあり、刺激になりました。

「素晴らしい仲間と出会えた。」ということです。

## 我ら！—ボツになった—青年兄弟

しん一兄弟

ボツになった理由  
・「しん」が異なる漢字なので兄弟としては弱い

一丁目在住 三兄弟

ボツになった理由  
・無理矢理過ぎる  
・何を訊けばいいの？

四丁目在住 三兄弟

ボツになった理由  
・「一丁目」と同じ理由  
・「一丁目」もボツだし……

長男 増崎しん一 (進一)

長男 寺本正弘 (星取)

長男 馬見塚純治 (かき道)

次男 山崎しん一 (伸一)

次男 山崎伸一 (片淵)

次男 山室敏紀 (西山)

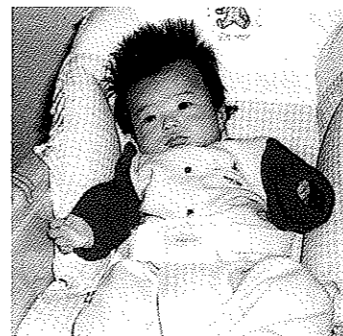
三男 大隈しん一 (信一)

三男 前田 勲 (昭和)

三男 堀田健二 (上小島)

## お子様誕生おめでとうございます

堀田健二君 あすか  
次女 明日香ちゃん  
平成13年11月15日生



父より  
「明日に向かって、前向きに優しく、健康で育って欲しいです。」

## — 編集後記 —

バスにもICカード時代が到来した。乗降の際にICカードを読み取り機にふれることにより、運賃を精算する仕組みだ。高速道路での、ETCみたいなものだ。新しい技術のおかげで、便利で、良いものが街中にあふれている時代ではあるが、その反面、大量のゴミも出ている。  
そんな中、長崎市では2月1日よりゴミ袋有料化がスタートした。これにはゴミを少しでも減らしたいという思惑もあるようだ。皆さんも協力しましょう。そして、一日も早い「ゴミ0社会」が実現する新時代の到来を希望します。